

名張市教育センターだより 第10号  
平成28年12月2日（金）発行

創る

〒518-0485  
三重県名張市百合が丘西5番町25番地  
<http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

事務室・教育よろず相談 1F  
Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802  
E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp  
minakuru01@nabari-mie.ed.jp  
適応指導教室（さくら教室）2F  
Tel 0595-63-7830 Fax 0595-63-7830  
E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp  
学校ボランティア室 1F  
Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802



## 名張市小中学校音楽会



名張市小中学校音楽会小学校の部を10月21日（金）、中学校の部を11月8日（火）にADSホールで開催しました。

小学校の部では、緊張しながらも一生懸命表現する子どもたちの姿がたくさん見られ、心をひとつにして創り上げた素晴らしい演奏がホールいっぱいに響きました。中学校の部では、他校の同級生が歌っている様子を見ながら、迫力ある歌声に聞き入っていました。市内の中学校3年生が全員集まって時間を共有し有意義な音楽会となりました。

小学校、中学校ともに、それぞれの学校の児童生徒が、練習の成果を十分發揮し、素晴らしい発表会でした。

保護者の観覧については、今年も小学校の部は抽選なしで希望者302人に鑑賞していただきました。また、中学校の部は、3年生全員参加を優先に考えた結果、PTAを代表する各校2名ずつの保護者に鑑賞していただきました。



### 保護者アンケートより

#### <小学生の保護者>

- ・学校ごとに特色があり楽しむことができました。強弱をつけたり、感情をのせたり児童が一体となって歌う姿はすばらしかったです。全体合唱もよかったです。先生方や関係の方々に感謝しています。
- ・楽しそうに表情豊かに演奏する姿に感動しました。自分が小学生の頃1年を通じて合唱に取り組んでいたので自分の姿に重ね合わせて懐かしく思いました。先生方ご指導ありがとうございました。
- ・それぞれの学校が限られた時間の中で一生懸命取り組んでいるのを感じました。子どもたちの成長を改めて目の当たりにしてとても貴重な時間を過ごすことができました。
- ・自分の小学校だけではなく、他の小学校の同学年の子たちが音楽会に向けて一生懸命練習してきたかと思うと胸が熱くなりました。とてもみんな輝いていて、とてもいい時間を過ごすことができました。このような音楽会を開いていただけて本当にありがとうございました。今後も続けてほしいです。

#### <中学生の保護者>

- ・各校ともとても素敵なかの歌で、みんなが心ひとつになり歌い切り、迫力のある歌声で感動しました。これからも合唱を続けていってほしいと思いました。最後の全員合唱は最高でした。今日は素晴らしい時間をありがとうございました。
- ・感激しました。素晴らしいかったです。話を聞いているときの態度も素晴らしいでした。先生方の指導に敬意を表します。
- ・各学校とも練習を頑張ってきた成果が出ていたと思います。すばらしい歌声を聴かせていただきありがとうございました。感動しました。生徒の聴く態度もすばらしかった。

# 教育フォーラム in なばり 2016 12月3日(土)

地域や学校・家庭及び行政が連携して積極的に子どもたちの教育に関わり、子どもたちの健やかな発育を願い、子どもたちの未来について市民総ぐるみで考え方を学ぶ機会を提供することを目的に教育フォーラムを開催します。

講演会 地域とともにある学校づくり～小中一貫教育とコミュニティ・スクールの魅力～

三重県教育委員会特別顧問・文部科学省参与 貝ノ瀬 慶 氏

☆体験コーナー、実践発表など盛りだくさんです。ぜひお越しください！

## ふるさと学習「なばり学」

学校教育室から発行している「ふるさと学習『なばり学』通信」を見ていただいたと思います。これまでの各学校での多くの取組を系統立て、名張市全体のものとしていきます。ふるさと「なばり」について自信をもって語れる児童・生徒の育成をめざして準備を進めています。

## プロジェクト研究

本年度のプロジェクト研究では、以下の2点を仮説とし研究を進め、研究員の授業研究を通して子どもたちの意識の変容を探っていきます。

◎地域素材を取り扱った授業を効果的に取り入れることにより、児童生徒が「なぜ?」「どうして?」「すてき!」「大好き!」「もっと知りたい・教わりたい」等を見つけ、ふるさとに対しての興味関心がより一層高まるであろう。

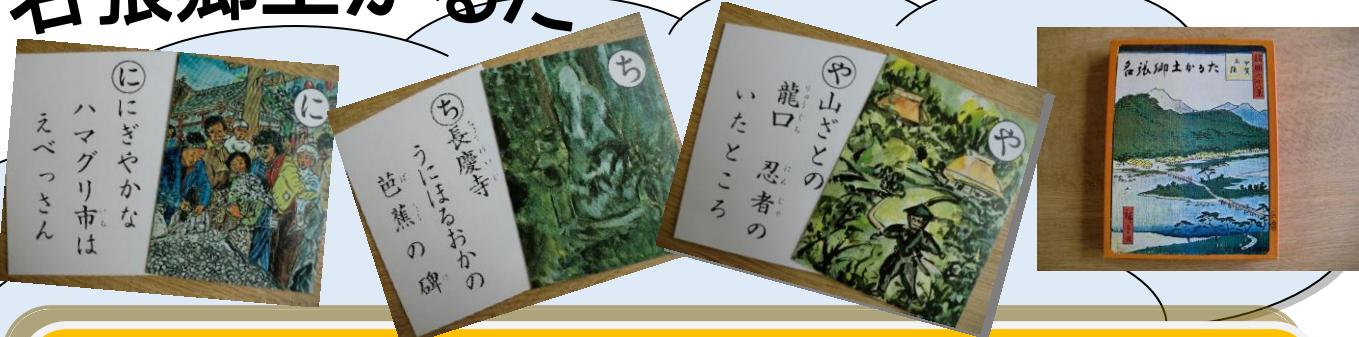
◎家庭や地域との連携を図り、自然体験や社会体験を充実させることにより、ふるさと「なばり」の良さを実感し、名張市に愛着を持たせることができるであろう。

11月16日には薦原小学校の成瀬教諭による授業「名張に生息する絶滅を危惧されている生き物から学ぼう」を参観し、協議を行いました。校区に生息するギフチョウの学習で終わるのではなく、外に目を向けさせるための“しあげ”として登場した「オオサンショウウオ」に子どもたちは興味津々。ゲストティーチャーとして来ていただいた川内さん（郷土資料館）の話に熱心に耳を傾け、本物のオオサンショウウオにも触れることができました。

今後は、「名張に世界遺産を」「オリジナルかたやきを考えよう」「米博士になろう～箕曲から世界へ～」等の授業を通して研究を深めていきます。年度末には子どもたちの様子や「なばり学」に関わる資料等をまとめとして配付する予定です。



## 名張郷土かるた



名張青年会議所発行の「名張郷土カルタ」を購入しました。(17セットあります。)名張市の歴史、文化財、史蹟、年中行事、特色ある動植物等が織り込まれ、読み札の裏側には簡単な解説文がついています。「なばり」を知る第一歩としてご活用ください。かるた遊びをする中で、知っている地名に出会ったり、自分たちの住む地域の札を見つけたりしながら「なばり」に興味を持つことができます。12月より貸出を行います。